

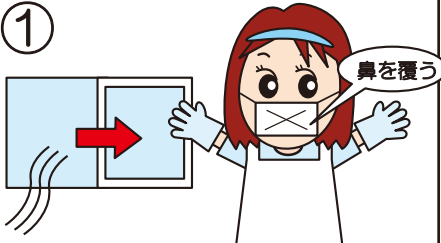
二次感染を防ぐために… 1 おう吐物の処理

ノロウイルスに感染した人の排泄物やおう吐物には、多量のノロウイルスが含まれています。これらの処理を適切に行うことが感染の拡大防止につながります。

おう吐物の処理が不適切であったため、感染が拡大してしまった事例が多数報告されています。

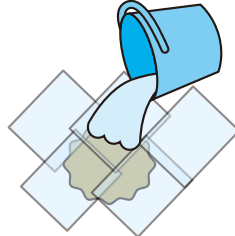
処理する際、床に手やひざをつくとおう吐物が付着するので注意！

①



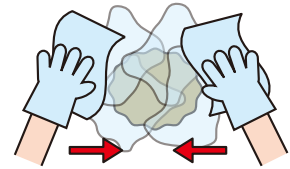
換気のために必ず窓を開け、使い捨て手袋・マスク・エプロンを着用する。

②



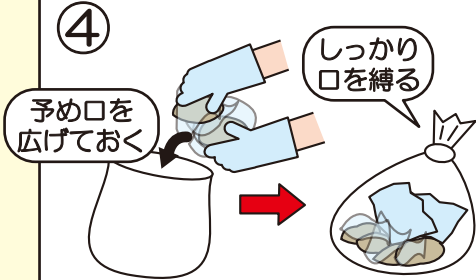
おう吐物を吸水性のあるペーパータオル等で覆い、おう吐物と同量以上の **0.1%次亜塩素酸ナトリウム液** をかける。

③



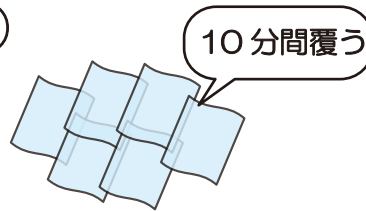
おう吐物中のウイルスが飛び散らないようにペーパータオルなどで外側から内側に向けて拭き取る。

④



拭き取ったおう吐物やペーパータオルを袋に入れる。

⑤



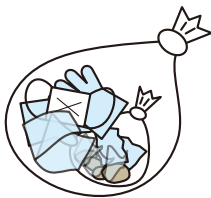
0.1%次亜塩素酸ナトリウム液 に浸したペーパータオルをおう吐物を取り除いた場所を10分間覆い、その後水拭きする。

⑥



片手の手袋を外し、手袋を脱いだ手でビニール袋を持ちながら汚物が入った袋を入れる。

⑦



手袋、マスク、エプロンを回収し、袋の内側を触らないように注意して口をよく縛り、廃棄する。

⑧



処理後は手をよく洗いましょう。(P4参照)

おう吐物は想像以上に遠くまで飛び散っていますので、吐いた場所から2m程度の広範囲を消毒する必要があります。



消毒範囲

おう吐物



2m

○おう吐物で汚れてしまった衣服やシーツは、**0.1%次亜塩素酸ナトリウム液** に10分間浸した後、他の洗濯物と分けて最後に洗いましょう。(※素材によっては色落ちします)

○処理に必要な物品は所定の場所に備えておきましょう。